

CSだより

大谷小学校運営協議会

令和3年9月22日

No.3 文責 池田 杏子

第3回 学校運営協議会が9月10日にZoomにて開催されました。

学校運営協議会（以下、運協）とは、学校、地域、保護者が参加し、学校運営に関する協議を行う場です。また、大谷小学校ではその三者に加え、部伍会のリーダー（5年生6年生）も参加し四者での協議もおこなっています。

今回はコロナの感染状況が悪化したことでの学校運営の状況や、来年度の実働部会の内容を検討していくことが主な内容でした。

CSだよりでは、運協での注目情報を選りすぐってお伝えします。



☆ 今後の教育活動について

- ・5年生 自然教室 … 昨年度は宿泊なしで行ったが、今年は10月20日～21日に夜須高原青少年の家で実施予定です。感染状況によっては変更もあります。
- ・6年生 修学旅行 … 現在は10月27日～28日に長崎に行く予定です。もし、県内という制限がかかれれば日帰りもあります。また、時期も前倒しや延期も視野にいれています。
場所についても、長崎がダメなときにどこに行きたいかを子どもたちがクロムブックで調べています。新しい考えを出しながら新たなものを創り出す姿が素晴らしいです。
- ・谷リンピック … 現在、10月30日（土）に走競技を中心に各学年の発表を行う予定です。
保護者の参加ができない場合には配信も検討しています。
- ・学習発表会 … 11月26日～27日に予定しています。保護者に見てもらう場合は昨年度のような動きで行います。状況によっては無観客で配信することも検討しています。



おたよりでは書ききれない学校の様子を
HPにたくさん掲載しておりますので
是非ご覧ください。

Kasuga-ootani.com

QRコードはこちら ⇒



☆ 次年度の地域学校共働本部について

令和4年度に向けて部伍会活動をどうするか考えていかないといけない状況です。
コロナの感染状況が今後どのようになるか見通しが立たない中で、どのような活動ができるか見直したいと思っています。

「アフターコロナ」「ウィズコロナ」といわれている社会状況の中で、地域活動やPTA活動を見直していくことが必須となっています。どのように活動していくのか、新しい活動を模索していきたいです。

のために、運協委員の皆さんの中で、実働部会に参加してくださっている方にご意見をうかい、参考にさせていただきたいと思っています。

☆ 校長先生から

現状で心配なのは子どもの感染です。春日市内の感染も増え、家庭内での感染も多いようです。
学校では従来通り、マスク・手洗い・換気の徹底を行っています。

また、子ども同士の接触の機会をできるだけ減らし、給食も黙食を徹底しています。

学校行事の中では、異学年の交流（委員会・きずな班活動など）を減らしています。感染状況を見ながら必要に応じて対応していきます。

ICTについて、春日市全体としては夏休み明けの1週間がオンライン学習となりました。
大谷小では、1～6年生全てオンライン学習を実施しましたが、子どもたちは自然に適応し、使いこなしています。今までのような、黒板を背に教えるのとは変わっていくのではないかと思っています。

☆ 学識経験者 生田先生から

実働部会は何度も修正がありながら続いている。新しい環境の中で見直すことに価値があります。

実働部会が始まったころは主にワークショップをしていました。

学期の終わりにホールに保護者が集まり「〇〇をしよう！」といろいろなアイデアを出し合っていました。その中には「谷っ子ノート」や「31日はごめんなさいの日」などがありました。そもそも、子どもたちの為の部会です。今の子供に何が必要なのか。大谷小は4者（学校・保護者・地域・子ども）で話し合っていく基盤ができています。だからこそ、子どもたちが地域で何をしたいのか、子どもたちの意見を出し合っていく機会があると大谷らしいですね。

「やつたらできた」という機会はなかなかできないが、何かしらの形で検討していくことも大切です。自治会・学校・PTA等の中で、緊急事態だからこそ、何かしら新しいことにチャレンジしていくことができたらいいと思います。